

しぎ
鳴

春まけて 物の悲しさに さ夜更けて

は ふ な しぎ た た す
羽振き鳴く鳴 誰が田に住む

十九—四—四一 大伴家持

歌意 春になって何かと悲しいのに、夜更けに羽ばたき鳴く鳥は、どこの田に住むものか

形態、習性の似ている仲間
にタシギ・ヤマシギ・アオシギ・タマシギなどがいますが、このように夜更けに羽を震わせて鳴く鳥はオオジシギが当てはまります。

オオジシギは4月上旬（春まけての時期）に渡来し草原や湿地・水田などに住みます。繁殖期の求愛行動では上空でズビヤーク・ズビヤク・ズビヤクと大声で鳴きながら旋回飛翔し急降下します。この時尾羽を開いて震わし、ガガガ・・と大きな音をたてます。